

町長行政報告



湯沢町長 上村清隆

柏崎沖を震源とする中越沖地震では、湯沢町では震度3を記録しました。地震発生後まもなく、町関係施設の安全確認等を行いました。その結果施設に異常はなく、要援護世帯において1名の軽傷者が発見されましたが、その他は異常なしと何よりでした。被災地の一日も早い復興と、皆様のご健康をご祈念いたします。

7月25日、暴力団排除宣言式が行われました。今後も町民はもとより、訪れた観光客の安心安全のため、警察当局

等と連携した取組みを行います。

7月27日から14日間、湯沢中学校の3年生14名らが訪米し、ホームステイを体験してきました。この交流事業を通して、中学生の国際感覚と英語力が向上してくれることを願っています。

水稲は現在平年並みの生育状況で、今までの経緯から稲刈りは10月初旬であり、作柄は平年並みと推測されております。

町内の今夏のイベントは、フジロックフェスティバル、湯沢フィールド音楽祭が開催され、多くの観客を楽しませてくれました。いずれも湯沢の音楽イベントとして、地域と連携しながら定着していることは喜ばしいことでありま

昨年より計画していた「湯沢に住んでみませんかキャンペーン」は、新潟県より新にいがた人応援事業の採択を受け、事業を開始しました。進捗状況は、「お試し湯沢ぐらし」の参加者募集を開始し、情報誌「湯沢ぐらし」を創刊したところです。

去る6月26日、社会福祉法人苗場福祉会による事業計画が、建設地の中子町内会に説明されました。これが完成すると、地域に密着した介護施設となります。完成は来年3月末の予定であり、それまでに職員募集や入居者の選考等を行うことになっております。

8月25・26日の2日間にわたり、南魚沼市及び県スキー連盟主催による第19回塩沢サマージャンプ大会が行われまし

た。当町からも職員を派遣し、来年度に迫った国体等の成功に向け、役員養成を行いました。今後も国体に向けて万全の準備をしてまいります。関係諸団体並びに皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



情報誌「湯沢ぐらし」創刊号が発行されました。